



# ぶどうのささやき

37号

2024年  
7月15日発行

地域経済の活性化を目指し、社会貢献をしています。

## 産業クラスター研究会は設立 20 周年を迎えました

当会設立 20 周年を記念して式典を 2 月 16 日に横須賀市産業交流プラザで行いました。



富野理事長

上地横須賀市長



男声合唱団「セミ」

横須賀市寒川デジタルガバメント推進担当部長の特別講演と個人会員によるDXセミナーの後、パーティーでは上地横須賀市長、篠原神奈川県政総合センター長の御祝辞を頂戴し、大いに盛り上がりました。

(設立 20 周年記念行事準備委員会 仲田清)



寒川デジタルガバメント  
推進担当部長

篠原県政総合センター長

鈴木顧問

加藤前副理事長

木下前理事長

会の発展に寄与された方々に感謝状の贈呈

### クラスターとは・・・

クラスターとは、ぶどうの房や羊の群れを意味します。米国の経済学者マイケル・ポーターが著書『経済戦略』の中で異業種間のネットワークを構成している状況を意味するものとして『産業クラスター』という言葉を使っています。私たちは地域経済活性化への貢献を目指して、2003年8月に産業クラスター研究会を設立しました。



セキュリティ対策自己調査  
普及啓発団体



セキュリティ対策自己調査

## ご挨拶

平素より当会の活動に対し皆様より多大なるご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本年2月に行われました当会の発足20周年記念行事に際しましては上地市長のご臨席も賜り、盛大かつ和やかに行われましたことをご報告致しますとともに皆様のご協力で改めて感謝申し上げます。

又、先般行われました23年度決算、及び24年度予算総会も皆様のご協力により滞りなく終了することができました。

24年度の主な取り組みについては以下のような内容となりました。

- 1) 昨年に引き続き横浜市から業務委託を受け実施している公共施設の運営審査に取り組みます、既に昨年の実績に迫る3件が確定しています。
- 2) 経営・業務改善グループでは昨年に引き続き腰を据えた伴走型の業務改善支援を行います。
- 3) 通訳・翻訳グループでは引き続き横須賀商工会議所と連携して米海軍の入札支援を行うとともに、外国人技能実習生に対する日本の資格取得支援や市民サポートセンターと連携してボランティアとして就学が困難な中高校生徒への英語・数学の補習事業の実施等も行います。
- 4) 公共支援活動では引き続き同サポートセンターにおける月一回の「いまさら相談室」や「スマホ教室」、観音崎自然公園での「ものづくり教室」も開催する予定です。
- 5) その他HP・IT・特許グループ、情報セキュリティーグループは引き続き支援案件の積極的な開拓を行い、DX・デジタル研究グループは中小企業にとって必要とされる支援の研究、開拓を行います。

日本の経済活動はようやく元に戻りつつありますが、円安の

理事長 富野 養二郎



恩恵を受けて最高益を更新する大企業と異なり、私どもの主な支援先となる地元中小企業様におかれましては逆に資材やエネルギーの高騰を価格に転嫁しきれず、ご苦労されている企業も多いものと思われま。

長引くデフレ政策により円はドルに対しここ3年程で4割近くの下落を見せていて、先日の新聞に「賃金も物価ももはや「安い国」というタイトルで国際的な通貨の購買力を示す日本の実質実効為替レートが95年以降下がり続け、この間で約4割程下がった、又、日本人の平均年収は22年の統計で韓国からも抜かれてしまったとありました。

今日の友人との会食の席で、この事が話題になり、情けない、我々の世代は頑張った、今の世代の者は日本の経済的地位の低下に鈍感なのではと盛り上がったところで一人の友人が、いやいや今の若者にとってはこの状態が通常であって海外で働くという選択をする者も現れ始め、彼らなりに新しい価値観で時代を切り開いて行けば良いのではないかと、我々も親の世代からの「昔は良かった」発言に辟易としていたことを忘れて同じ轍を踏んでいるのでは？と言われ、そういえばそうかもしれないと反省させられました。

地域の中小企業の皆様にとってはまだまだ困難な状況が続くものと思われまますが、当会は皆様と真摯に向き合い、できる限りのお手伝いをする所存ですのでこれからも宜しくご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

### 【歳時記】 アジサイ (紫陽花)

6月と言えば梅雨の季節である。今年はいつから「梅雨」が始まるのか、毎日のニュースの中で頻りに天気予報が流される。地球が太陽の周りを一年かけて周回するので必然的に季節は順番に代わっていく。その中で6月入梅の時期にアジサイは毎年必ず我々の生活の中で、存在をはつきり感じる植物である。既に奈良時代、雅の歌の中にも歌われ愛でられている。日本中どこでもみられる馴染みの花である。ところがアジサイの花が広く人気になったのは、第二次世界大戦後で、戦前までは大して人気はなかったそうです。近頃はあちこちに有名なアジサイ園が多くあり、近場では鎌倉明月院(アジサイ寺) 千葉県本土寺、奈良県長谷寺等。京都宇治市の三室戸寺では夜間のライトアップが行われ紫や白、ピンクといった色とりどりのアジサイが夕やみの中で鮮やかに浮かび、西洋アジサイやガクアジサイ等50種類が植えられており見学者を喜ばせているとのこと。

アジサイの原産地はなんと日本で、ガクアジサイが日本固有種ですが、ヨーロッパから多くの改良品種が持ち込まれ今や2000種ともいわれるほど多い。アジサイの名前の由来は小さなものが集まることを表す「あず」と「さ(接統詞)」と「あい藍」で「あずさあじさ」↓「アジサイ」となったそう。

アジサイは色が多くことも特徴で、土壌の酸性度(pH値)によって変わり、またアルミニウムの含有によって強い藍色になる。諸条件によって色の変化が多く「七変化」とも呼ばれる。又、花言葉も多い。青色は辛抱強い、愛情、知的、ピンクは元気な女性、強い愛情、家族団らん、紫は神秘、謙虚など。

日本では6月6日、16日、26日が「アジサイの日」と言われている。別名「生け花の日」ともいわれる。古くから子供が6歳になって迎える6月6日にお稽古事(習い事)を始めると言われている。指を折りながら数を数えていくと「6を数える時に小指が立つ」ことから「子が立つ」と考えられたからだそう。

6月の梅雨時道を歩いていると、アジサイの群生を見かけることがある。やはり昔ながらの濃い紺色の花が群生して雨でぬれて咲いているアジサイの姿が、私は好きだ。(誠)



## 事業活動紹介

## 横浜ゴム株式会社 三島工場見学記

個人会員 樋谷 祐一



例年なら梅雨空の季節であるが、快晴に恵まれ、工場訪問にはうってつけの好天気となった。工場には NPO 法人伴走支援クラブ関係者（横浜ゴム OB）7 名と産業クラスター関係者 8 名 総計 15 名で訪問した。10 時に三島駅に集合メンバーはまず楽寿園を散策後、三島大社を参拝した。その後三島の名物鰻を老舗の「すみの坊」で賞味した。

午後 1 時に工場を訪問し、大会議室で三島工場の工場長松本様と訪問団体の代表者の挨拶交換後、横浜ゴム及び三島工場の概要説明を受けた。創立は 1917 年（大正 6 年）、三島工場はハイパーパフォーマンスタイヤ製造を特徴とする工場として 1946 年（昭和 21 年）に建設された。企業全体では国内 8 工場、海外では米国・ドイツ・東南アジア・インド等 8 拠点をもち、グローバルに事業展開しており、業績好調な 1 兆円企業である。

最初にタイヤ製造工程の説明、TPM・TPS その他自主保

全・品質保全活動などの改善活動の説明を受けたのち、ガイドに従い現場見学した。工場設立後 78 年経過しており、歴史のある工場であるが、現場は整理・整頓・清掃が行き届いており、またこの現場でも作業員から笑顔で挨拶を受けた。工程間の通路の壁に TPM や品質改善など広範囲の活動成果が所狭ましと掲示され、改善活動が活発に行われていることが伺えた。組織図に通常のみ管理體系と独立したマイスター制度があり、技術伝承が重視されていること。タイヤ一本一本に製造条件等が追跡できる QR コードが刻印され、完全なトレーサビリティが確立されていることなどが印象に残った。



## フィリピン人実習生への教育サポート

翻訳・通訳 G 仲田 清



産業クラスター研究会では米軍との商談を、通訳や商業翻訳・技術翻訳でお手伝いしていますが、外国人実習生の教育サポートも行っています。受入れ時の導入教育から技術教育などを英語で行い、日本語での教育を補足します。実習生制度が育成就労制度に改訂され外国人材の活用が容易になってきた現在、その早期戦力化のお役に立ちます。

2018 年に横須賀商工会議所様のご紹介で、市内の（株）酒井工業所様からフィリピン人実習生のために社内規格の翻訳依頼を受けたのが始まりでした。同社は高級材料の配管工事で定評があり、優秀な溶接士の確保のためフィリピンからの実習生を継続的に受入れることにしたそうです。

1、2 期生受入約 1 年後、今度は JIS ステンレス溶接技能資格（注）受験のサポートを依頼されました。まず、教材の翻訳を行い、ついでに教材を使って講義も行いました。幸い、3 人中 2 人合格し、落ちた一人も補習後無事合格しました。（注：プラント配管のような重要な溶接部は認定

された資格溶接士が行います。JIS では実技だけでなく筆記試験があり、英語でも受験できます。）

ついで、手溶接技能資格受験のサポートを同様にを行い、二度目なのでお互い慣れて今度も合格できました。

昨年は、新たな取組みとして来日早々の 3 期生に最初に翻訳した社内規定の導入教育を、改訂部分の翻訳と併せて行い、更に 1 期生同様に溶接技能資格受験のサポートを行ない、先ごろ皆さん無事合格しました。

これらのサポートは、①教材の翻訳、②教材のパワーポイント編集、③パワーポイントを使つての講義、④必要に応じ模擬試験の実施、のセットで行いますが、さまざまな技術分野の経験者の集団である産業クラスター研究会なればこそといえます。



## 2023 年度ご寄付一覧

2023 年度（2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日）の当会へご寄付をいただいた方は以下（敬称略）の通りです。改めて厚くお礼申し上げます。いただいた寄付金は地域経済の活性化活動および地域企業の支援のため使わせていただきます。ご寄付は寄付金控除の対象となります。詳しくは当会ホームページ「寄付のお願い」を参照ください。

[企業及び団体] 菱和工業株式会社、株式会社 酒井工業所（\*）、横須賀商工会議所（\*）、三浦商工会議所（\*）、  
神奈川県印刷工業組合（\*）、追浜工業会（\*）、公益法人 観音崎自然博物館（\*）、一般社団法人 sukasuka-ippo（\*）  
（\*）は 20 周年記念行事のご厚志

[個人] 鈴木 裕子、片平 悌一、阿部 昭彦、佐々木 興吉、富野 養二郎、大塚 眞民

## 歴史散歩

## 海軍機関学校・芥川龍之介・蜜柑

個人会員 堀込 孝繁

## 海軍機関学校と芥川龍之介

海軍機関学校と言えば「舞鶴」が有名ですが、その誕生は横須賀でした。幕府が建設に着手した横須賀製鉄所を明治政府が引き継ぎ、1871年に帝国海軍所管の横須賀造船所となりました。その10年後に機関科士官を養成するために設立されたのが海軍機関学校です。そこでは、機関術・整備技術を中心に機械工学・火薬や燃料の調合などの科学技術を教えていました。

芥川龍之介(1892～1927)は東京帝国大学英文科を卒業した1916年にここの英語教官に採用されました。前年には「羅生門」を発表し、執筆活動と英語教師の“二刀流”のスタートです。2年余り後には執筆活動に専念するため新聞社に転職しますが、副業に寛容だった海軍機関学校には感謝の言葉を残しています。

芥川が去って後、1923年に発生した関東大震災により校舎は倒壊し、授業は臨時的に江田島の海軍兵学校で行われましたが、1925年に舞鶴で再建され、1945年の敗戦・海軍解体に至ります。横須賀市稲岡町の跡地には、神奈川歯科大学と横須賀学院が建っています。

## 吉倉公園の“蜜柑”文学碑

小説“蜜柑”は海軍機関学校を辞任した1919年に発表されました。あらすじは、「私」が当時始発駅だった横須賀駅の車中で乗り合わせた「下品な顔立ちと霜焼けの手で不潔な服装の田舎娘」に不快感を抱いたところから始まります。無視しようとするのですが、発車すると娘が開けた窓からトンネル内で蒸気機関車の煤煙が流れ込み、怒りがこみ上げたところで、トンネルを抜けた先の踏切の近くにいた男の子たちが歓声を上げると娘が「心を躍らすばかり暖かな日の色に染まってゐる」蜜柑を5、6個その子たちに向かって窓から投げる、という印象的な情景で終わります。



横須賀駅から上り方面で最初の吉倉トンネルを抜けた左手にある吉倉公園に、1986年に“蜜柑”の文学碑が建てられました。ただし、小説で蜜柑を投げた場所はここではなく、もう一つ先の長浦トンネルを抜けた田の浦踏切ではないか、と言われています。

## 事務局からのお知らせ

次の通りお知らせします。

- 2024年2月16日 20周年記念行事開催  
多数のご来賓と会員のご参加を得て当会設立20周年記念行事を開催しました。お蔭さまで盛大に、またNPOらしくとり行うことができ改めて皆さまのご協力に感謝申し上げます。詳細はWebサイト「設立20周年記念行事」を参照してください。
- 2024年3月29日 2023年度第4回理事会を開催。2023年度活動実績・収支見通しと20周年記念行事報告をし、また2024年度予算案を審議し承認されました。
- 2024年4月19日 2024年度第1回理事会を開催し、2023年度事業・決算報告案と運営規定改訂案の承認と2024年度監事改選案を審議・決定しました。
- 2024年5月16日 2024年通常総会を開催し、2023年度事業・決算報告の承認と2024年度事業計画案と予算案の承認、および監事改選案の承認を行いました。詳細はWebサイト「2024年度通常総会報告」を参照してください。終了後、同所にて細やかながら交流会を行いました。
- 2024年6月12日 横浜ゴム(株)三島工場の工場見学会を開催。10数名の会員が参加し、ものづくりの現場を見学しました。

(事務局 佐々木 興吉)

## 羅針盤

今年2月に当会設立20周年記念行事を開催することができました。世の中が目まぐるしく変化している近年において、地域産業の有機的結びつきによって、イノベーションを連鎖的・相乗的に行うことができる機能形態「産業クラスター」を維持していくことは、大変難しいことですが、世界に目を転ずると100年近く活動を続けている団体もあるようです。▼設立当初は、構成メンバーである中小企業の経営者とさまざまな企業、行政OBなどの個人会員も、日本の高度経済成長を支えてきた自信と経済再生と環境対策に地域から取り組んでいく活動に、情熱をもって取り組んできました。しかし日本経済の長期停滞やデジタル技術の急速な展開の中で、従来からのやり方で生き残れる

のか？ 昨年度当会は組織変更を実施しました。縦割りの部会制から自由闊達に行動するフラットなグループ制に。▼広報活動も情報化時代に対応すべく、メールマガジンの発行を強化し、ホームページの更新も計画実行中です。今回、会報誌作成も時代の流れに合わせて「軽快に、ビジュアルに」を意識して取組んでいます。最新ニュースをお伝えするメールマガジンやSNSなどと、保存版情報の発信・再検索方法の研究が必要です。いずれにしろ、新しい分野の活動に共に取組んでいく仲間が欲しいので、絶賛会員募集中です。

働き方改革の一環として、非営利活動で「人との交流を大切に」する現役世代も参画できるようにリモートの参加も可能です。技術の進化が生活を変え、その変化が新しい時代を築けるように生涯現役でありたい(俊)

発行：特定非営利活動法人 産業クラスター研究会

〒239-0847 横須賀市光の丘8番3号 YRPベンチャー棟209号

Tel & Fax : 046-847-6355 E-mail : y-cluster@cluster.jp

横浜事務所 〒236-0055 横浜市金沢区片吹69番26号

連絡先 : 046-847-6355

E-mail : y-cluster@cluster.jp

発行人：富野 養二郎



<https://cluster.jp>